



目次

はじめに：本レポートの要点および各章の概要
 要旨：本ガイドの重要なポイント
 基本情報：自動車におけるOTAおよびソフトウェアアップデートを理解するための基本
 最新情報：OTAおよびソフトウェアアップデートに関する注目すべき発表、買収、パートナーシップの視点で捉えたトレンド
 分析：付属のExcelデータベースで特定された、OTAおよびソフトウェアアップデートの分野におけるトレンド
 サマリー表：提供されるOTAアップデートのカテゴリごとの概説
 概観：コネクテッド機能に関する一連のレポートから読み取れるトレンドと洞察の概要
 今後の展望：OTAおよびソフトウェアアップデートの将来を見据えることのメリット
 Excelデータベース：OEM各社が提供しているOTAアップデート関連の機能およびサービスに関するデータを収録

関連レポート

FaaSがもたらす新たな自動車ビジネスモデルのロードマップ

レポート番号：639

FaaS（Features-as-a-Service）は、車両販売時にオプション機能やパッケージをアップセルする従来の方法に代わるビジネスモデルです。FaaSでは、車両オーナーは車両購入後に機能を追加購入することが可能となり、OEMにとっては新たな収益源を得る機会が創出されます。

レポート番号：#638



Connected & Mobility Services

FOTA&ソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド

自動車業界における新たなプレーヤーのエコシステムでは、車両開発およびライフサイクル戦略の核心として、OTA（Over-The-Air）やFOTA（Firmware-Over-The-Air）アップデートが重視されています。FOTAアップデートは、従来のOTAアップデートとは異なり、車両のハードウェア機能を直接追加、または強化します。現在、TeslaなどのOEMの車両では、定期的なアップデートが提供されており、生産時にインストールされたソフトウェア機能やファームウェア機能を有効化することが可能です。

消費者ニーズの高まりを受け、世界各国の自動車メーカーが、将来の車両ラインアップ向けに同様のOTA戦略を採用または開発しています。こうした自動車メーカーが車両のライフサイクルを通じて様々な電子制御ユニットを定期的に更新するようになるのに伴い、製品企画・エンジニアリングチームが機能やプラットフォームの競争力を評価することはより困難になる可能性があります。

本書では各OEMのOTAによる提供機能や対応モデル、リリースサイクルが流動的に変化している中、常に最新状況が把握できるよう、OTAに関する各OEMの最新動向を欧州、米国、および中国編別に四半期ごとにまとめ提供します。また、現在OEMが提供しているアップデートに関して、アップデートの種類や、頻度、プロセスで使用される技術についても掘り下げて解説します。OTAを提供している車種についてはデータベースとしてエクセルに整理するとともに、キーポイントをPPTレポートにまとめます。

対象市場

欧州 米国 中国
 日本 グローバル その他

レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 1 ワンタイム

レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

ページ数

77

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > どのOEMがどのようなタイプのOTAソフトウェアアップデートを配信しているのか？
- > ITや技術的観点から、アップデートはどのように実現されているのか？
- > OTAアップデートの配信頻度は？
- > 主にどのようなタイプのOTAアップデートが実施されているのか？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼 「FOTA&ソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

